

リユース食器貸出し事業

施策のポイント

イベント時に使用していた発泡スチロール製容器や割り箸を使わず、リユース食器を用いてごみの発生抑制に努めている。また、この食器を洗浄するユニット（さらピカくん）は、地元中小企業の社長さん達に手作りで製作を依頼した。軽トラックに積載し、イベント会場でその場で食器を洗浄することで、来場者にも環境配慮を呼びかけている。

自治体情報

栃木県高根沢町

人口 / 30,502人

標準財政規模 / 6,335,672千円

担当課 住民生活部環境課

電話番号 直通 028-675-8109 代表 028-675-8100 内線 242

実施主体 高根沢町

関連ホームページ <http://homepage3.nifty.com/eco-house-t/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策 1. 宮城県仙台市 (エコイベント環境学習支援: ワケルモービル)
2. 山梨県 (NPO 法人「スペースふう」) (リユース食器の普及を目指した「レンタル食器事業」)

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

これまでも、イベント時に排出される発泡スチロール製の容器や紙コップ、割り箸など多量のごみが排出されており、ごみの排出抑制の観点から町として何か取組むことが出来ないかと考察していた中で、山梨県の主婦グループで実施している「リユース食器」の貸出し事業に着目し、町独自の手法で実施を試みた。

2 取り組みの具体的内容

リユース食器の貸出しだけでなく、その場で食器を洗浄するためのユニットを製作。業務用食器洗浄機とシンク、作業台を備え付け、軽トラックで運搬可能なサイズに作成してもらいイベント会場に直接乗り入れし食器を洗浄し、この取組みを住民に PR している。同時にごみの分別を徹底するためのエコステーショングッズを設置、燃やすごみ、生ごみ、アルミ缶、スチール缶など9種類の分別カゴによる回収の協力を来場者をお願いした。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

これまでのイベントにおいて、排出されるごみの量について、特に数量を計っていたことはなかったが、明らかにごみは減っているし、料理を提供する側からも食器代がかからないので、環境面だけでなく、経済的にも優しいイベントになった。



2009.10.10・11 エコもりフェア

4 現在までの実績・成果

平成 21 年度は食器のみの貸出しが 22 回、食器洗浄ユニットとの貸出しが 9 回あった。

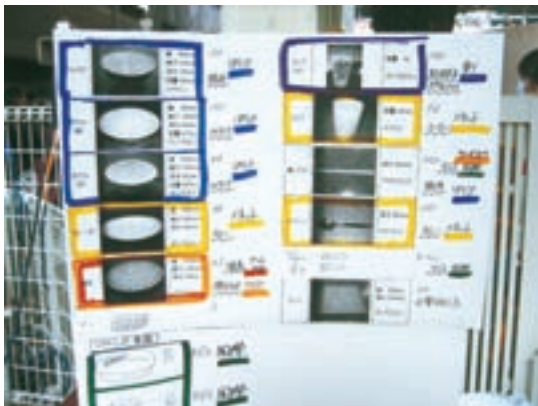
5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

食器洗浄ユニットは車が乗り入れできるところ、電力、給排水が可能なところでしか使用できないため、食器のみの貸出しが多いところが実情である。

この問題に対処するため、21 年秋にシンクと温水器がセットになった 2 号機を製作し、5 回のイベントに貸し出した。

6 今後の展開と課題

町内のイベントはもちろんのこと、町外のイベントにも貸し出しを行うなど、ごみの減量化のキッカケとなるよう、積極的に PR 活動を行っていきたいと考えている。



2009.11.3. とちぎ YMCA



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分：①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
335 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	335 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					